

小海高等学校生活指導係発行

冬の道路は危険がたくさん！

今年1月20日に大寒（二十四節気の一つ。寒さが一年のうちで最も厳しい頃）を迎えました。例年に比べ雪は少ないものの、朝は連日氷点下です。そんな中、学校までの坂道を歩き登校してくる皆さんの姿は大変たくましく感じます。厳しい寒さの冬を乗り越えることで、一回りも二回りも成長できるところが小海高校の魅力の一つだと思います。寒さや雪に負けず、健康で元気にこの冬を乗り越えましょう。

さて、そのためにもこの時期の登下校時にいくつか注意をしなければならぬ点をあげます。毎朝の巡視でも、皆さんの行動から心配になることもあります。自分の行動を振り返ってみましょう。



● 道路に広がらない

特に国道から上ってくる本間川集落内の道は狭く車も通ります。降った雪が道路脇に残っていると更に狭く滑りやすくなります。いつも以上に注意が必要です。

● 「歩きスマホ」などの「ながら歩き」は絶対にしない

登校時に限らず校内でも同様、痛い目にあってからでは遅いのです。イヤホンを付けていて周囲の音が聞こえなかったり、お喋りに夢中になっていたりして不注意にならないようにしましょう。

● 周囲の安全は自分で確認・確保

東馬流の公民館前や洞門付近など、道路を横断する箇所が多くあります。安全を確認せずに前の人に付いていくという生徒がとても多く見られます。横断する際は必ず自分の目で左右の確認をしましょう。また、車が見えたり車が来る音が聞こえたりした場合は、横断をせずに通り過ぎるまで待ちましょう。車も雪道や道路が凍っていたりして急には止まれないことがあります。前の人に付いていくのではなく自分で的確な判断をすることが大切です。



● その他、気になること

以前にも注意しましたが、その後も通学路途中の竹やぶの中に入っている者がいるようです。個人の所有地に勝手に立ち入る行為ですから、人の庭先に無意味に出入りしているようなもので、危険であること以前に非常識です。絶対にやめてください。